

## 中間テストの完璧な見直しを！

1 学期前半の学習を点検するという意味を持つ中間テスト。テスト返しが終わり、本日成績表を配付しました。ところで、テストの見直しは完璧に終わったでしょうか。

テストが返ってくると、まず点数に注目しますが、そこで「良かった」「悪かった」の一言で終わってしまい、「中身」をよく見ようとしない人がいるようです。それでは、学習内容の定着にはつながりません。どこの部分ができていなかったのかをよく分析して、不十分なところを繰り返して学習することが大切です。



## 福祉学習が始まりました

6 月・7 月の総合的な学習では、福祉について学びます。6 月 1 日（金）にはオリエンテーションを行いました。その中ではバリアフリー、ユニバーサルデザインについて学びました。どの生徒も真剣に考え、頑張っていました。下に感想を載せました。

今後の予定は、視覚障害者体験（ブラインドウォーク）、高齢者体験（車いす自走体験、介助体験、歩行体験など）、福祉に関する N I E 学習を実施する予定です。福祉を学ぶことは、人権にも強く結びつく内容です。これからの学習が、生徒それぞれの生き方につながってくれることを期待しています。

### 【今日のさわやかさん】

福祉とは、障害がある人や高齢者や、みんなが便利に使えるユニバーサルデザインや社会に生きる人が等しく受けることの出来る充足や安心の事だと分かりました。私は、障害がある人や高齢者を助けることだと思っていただけ、ユニバーサルデザインはみんなに必要ということが分かりました。福祉はとても大切ということが分かりました。（13H 村谷茉衣子）



私にとってバリアフリーは必要ないと思っていたけど、ケガや重いものを持っている時でも、役に立つと分かり、やっぱり大切だと思いました。「福祉」という言葉は時々聞かされたけど、障害者の方だけではないと知り、とても広いと思いました。（11H 吉川 虹）

福祉とは、みんなが安心して生活するためにあるものだと思います。自分にとって絶対にいるものではないかも知れないけど、あったら便利だし、それがあって誰かが幸せに暮らせるすごく良いと分かりました。高齢者や障害者だけでなく「全ての人が対象」というところから、平等で差別のない世の中へもつながると思いました。（14H 別宗菜々音）



福祉とは、みんなを支えるものだと分かりました。そして、僕も宇ノ気中学校のバリアフリーに支えられていました。これからもバリアフリーを使っていく上で感謝していきたいです。

（12H 新田 士瑛）